



開所当時の様子（音楽療法）

多摩市より重症心身障害者の通所施設の開設依頼があり、受託事業といた形で開所したのが平成20年7月で、「多摩市総合福祉センター（現二幸産業・NSP健幸福祉プラザ）」の7階の一室が「なかまの樹」の出発点となりました。

この部屋は元々多摩市社会福祉協議会の執務室で、オフィス仕様の造りのために水道をはじめ、設備も知りませんでした。

■ 皆で作り上げた
「なかまの樹」

ターゲット（多摩市）の全面的なご協力で医療的ケアを必要とする方の衛生管理や知識など運営に関する細かなところまでご指導をいただきました。

また利用者とご家族の、「ケアだけを受けるのではなく、活動に参加したい・働きたい」という要望、願いに応えるために、重度の方の受入れと活動プログラムのノウハウを持つボア・すみれ福祉会様（町田市）、夢ふうせん様（日野市）にご指導をいたしました。多くのお他事業所様のご協力が得られたからこそ、「なかまの樹」の根を張ることが出来ました。

■ 平成20年7月 「なかまの樹」開所

「なかまの樹」10年の歩み

「なかまの樹」のこれまでとこれから



発行元
社会福祉法人啓光福祉会
東京都多摩市和田一七一
〇四二 三七五 七三〇三

啓光だより



スプラウトの水やり



話し合いの活動の様子

段階から参加してもらうために利用者と共に話し合いながら活動内容を組み立ててきました。実はこの「なかまの樹」というネーミングも開所準備の時に利用者の方が考えたもので、「障害が重いが故にこれまで実現できなかつた夢や思いを叶えられる場所を作りたい。そこに『なかま』を増やしたい。」そんな思いが込められています。「障害が重くてもいろいろな事にチャレンジする」という運営方針はここが原点になっています。

○啓光福祉会の今後の予定

7月27日（土）
新堂公園夏祭り

8月17日（土）
からきだ夏祭り



これからの中10年は、これまでの10年とは社会情勢も利用者ニーズも大きく変わってくるでしょう。それで、「利用者の参加」を重点に置き、利用者一人ひとりが活躍できる場として根を張り枝葉を伸ばし、もつと大きな「なかまの樹」にしていきます。



現在の「なかまの樹」の様子

■ これからの 「なかまの樹」

10年という節目の中で、平成27年には現在の多摩市和田に移転して定員が5名から8名に増え、この平成31年4月からは10名へと更に増やし、少しずつ大きく成長してきました。

平成31年度・令和元年度 事業計画

全ての事業所の共通課題として「利用者の健康及び栄養管理」を挙げ、看護師、栄養士、生活支援員の全職種による支援会議の新設と、オンブズマン制度を見直し、サービス改善に繋がる運用に変えていきます。また、昨年度に引き続き、重度の方を対象としたグループホームの整備を進めていきます。

相談支援センター (計画相談)

安心した生活が送れるよう、家庭環境を含めた生活全般に関する相談や福祉サービスの提案を行います。また、運営体制強化として後継職員の育成に努めます。

啓光ホーム (グループホーム)

利用者が地域社会の中で日常生活に困らないよう、また、自立生活に向けて社会生活スキルが向上するよう、SST(ソーシャルスキルトレーニング)の手法を取り入れた支援を行います。

啓光えがお (生活介護)

昼食の調理場所を啓光学園から啓光えがおが入館している「幸産業・NSP健幸福祉プラザ」に変更します。これに伴い、サービスの向上を含めた食事提供体制の確立を図ります。

なかまの樹 (重心通所)

定員増加に伴う活動内容やスペースの活用方法等、活動プログラムの再構築を行います。また、変わりゆくニーズに対応するための検討を進めています。

啓光学園 (入所施設)

「地域生活支援拠点」整備における緊急時の受け入れや、在宅の方の中活動の受入れ等、地域に向けてのサービス提供のあり方について検討を進めていきます。

新人職員・異動職員紹介

【新人職員から一言】



啓光学園
生活支援係 生活支援員
上杉 菜

2年間専門学校で保育を学びました。啓光学園には実習でお世話になりましたが、これから時間をかけてになり、沢山のことに刺激を受け、関心を持ちました。至らない点が多くあります。使用者の方々が快適な生活ができるよう努めて参ります。

よろしくお願いします！



今年度、啓光福祉会では卒の生活支援員を2名（常勤職員）採用いたしました。同時に昨年度「啓光学園」の生活支援係長北田創が「なかまの樹」の生活支援係長として異動となりました。新しい仲間を加え、新体制でさらなる支援の向上に努めたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

啓光学園
生活支援係 生活支援員
平本 楓

3月まではパートタイムとしてなかまの樹に勤務していましたが、4月より常勤職員として採用されました。



なかまの樹
生活支援係 看護師
千田 厚子

3月まではパートタイムとしてなかまの樹に勤務していましたが、これから時間をかけていまましたが、4月より常勤職員として採用されました。



トランポリンでの様子

新年度が近づき、ドキドキわくわくしながら迎えた春。新しい仲間が1人増えさらに賑やかになつた児童部では、遊びの充実を図る為の一つとして、トランポリンを導入しました。ピロティーに設置されたトランポリンで遊んでいる児童利用者さんは明るく、弾んだ声を出しても樂しそうに過ごしていて、そんな利用者さんの笑い声に職員も毎日元気をもらっています。

4月に新学期を迎えるに進級し、お兄さん、お姉さんになつた児童利用者さんの更なる成長を楽しみに、より一層、充実した支援をめざし取り組んでいきたいと思います。

啟光学園／兒童



おいしい桜餅がつくれました

3月、女性のフロアでは職員と児童、成人の利用者さんが一緒に協力して桜餅を作り、皆さんで食べました。桜餅には一緒に食べる事が出来るようしつかりと桜の葉も巻いてありましたが、物珍しさもあり葉を取つて召し上がる方もいました。

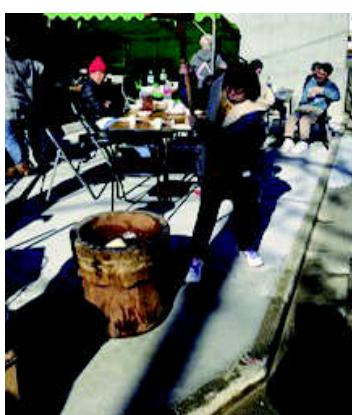
また、学園内の桜が咲き始めた頃にお花見を計画しました。昼食はいつもの給食ではなくお花見弁当を用意し、庭で桜を見ながら食事をする予定でしたが、あいにくの雨の為、各フロアで窓越しの桜を見ながら召し上がりました。外で食べる事は出来ませんでしたがお弁当で食事をとする機会も少ないので、利用者さんも一つのイベントとして捉えていたようで、いつもと違った雰囲気での食事を楽しむ事が出来ました。



ペットボトルキャップの色分け作業

受注作業を行う「さくら作業所」では、さらなる作業拡大と収益増加の為に営業活動が始まります。

啟光学園／成人



新年会の餅つきの様子

夏野菜の作付けに向けて、農園の土づくりを頑張りました。利用者さんや職員皆で、毎日こつこつと耕運や肥料散布を繰り返し、定植を迎えました。今後は皆さんが楽しみにしている夏季の収穫に向けて管理をしっかりと行つていきます。

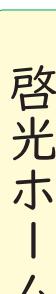
和田作業室では現在「ペットボトルキヤップ」を扱った新規作業を実施するために職員が事前の準備をしています。地域との交流を目的に協力していただけのお店などからキヤップの回収を行い、回収したキヤップは作業室で色分け作業を行っていく予定です。また、活動中にウォーキングを積極的に取り入れて気分転換や体力維持に取り組んでいます。

受注作業を行う「さくら作業所」では、さらなる作業拡大と収益増加の為に営業活動が始まります。

啓光ホームの新年会は今年の1月に開所した「啓光ホームおおぐり」で餅つき会を行いました。開会の言葉は、1月に喜寿を迎えた「啓光ホーム石村」に入居されている石村さんに行いました。

△各事業所のトピックス▽

啟光学園／生活介護



啓光えがお



お花見散歩の様子



厨房の様子

4月1日の年度初日はお花見散歩を企画しました。送迎車を使わず、52名の利用者さん全員が、近くの長坂公園まで行きました。この企画には、とても大きな意味があり、桜の花を楽しむことに加えて、体を動かすという健康面、そして、安全に全員が移動するという目的も含まれ、避難訓練にも応用できます。

様々な要因が含まれるからこそその緊張感や期待感などを利用者さん、職員全員が共有しての実施となりました。利用者さんの協力があつてこそこの企画、桜の下での高揚感や一体感は何物にも代えがたい貴重な年始となりました。

多大なご協力をいただきました多摩市をはじめ多摩市社会福祉協議会様、二幸産業様には、心より御礼申し上げます。

新しい厨房の使用にあたっては、多大なご協力をいただきました多摩市をはじめ多摩市社会福祉協議会様、二幸産業様には、心より御礼申し上げます。

4月より、二幸産業・N S P 健幸福祉プラザの厨房設備を新たに使用できるようになりました。これまでの啓光園の厨房からの運搬工程が無くなり、より一層温かく、作りたての食事が提供できるようになつたとともに、厨房との距離が近づいたことで、調理員が食事の風景を見ることが可能となりました。いわゆる「顔の見える厨房」の実現は、多様化する利用者の摂食や嚥下の状況に合わせた「おいしく安全な食事支援」を維持していく上で、大きな利点となります。

よりおいしく 作りたての給食を

理学療法（P.T.）では、歩く・起き上がるなどの動作練習や姿勢の調整と、呼吸や全身状態を良好に保つことや生活に必要な道具の検討、作成等を行っています。



一般的に、病院や療育センターなどでは、個別に十分な時間をとりますが、デイケアなどの福祉施設等では、週1、2回という限られた時間の中での関わりとなる為、活動で使う手足の動きに特化した体づくりがより大切であると考えられています。そのため、いつも一緒に活動している職員の方々との連携や、ご家族からの情報はとても大切にしています。

おしごと紹介（理学療法士／P.T.の仕事）

理学療法（P.T.）では、歩く・起き上がるなどの動作練習や姿勢の調整と、呼吸や全身状態を良好に保つことや生活に必要な道具の検討、作成等を行っています。

- 啓光学園（法人本部）／知的障害者（児）入所施設 東京都多摩市和田 1717 TEL 042-375-7303
- なかまの樹／重症心身障害者通所施設 東京都多摩市和田 1730-3 TEL 042-356-4006
- 啓光えがお／知的障害者通所施設 東京都多摩市南野 3-15-1 二幸産業・N S P 健幸福祉プラザ 1.2F TEL 042-376-5044
- 啓光ホーム／知的障害者グループホーム
 - ①啓光ホーム石村 東京都多摩市一ノ宮 4-27-12 TEL 042-339-7513
 - ②啓光ホームおおぐり 東京都多摩市一ノ宮 4-39-15 TEL 042-319-3380
 - ③啓光ホームいづみ 東京都多摩市和田 1721-7 TEL 042-401-9331
- 啓光相談支援センター／特定相談支援事業所 東京都多摩市南野 3-15-1 二幸産業・N S P 健幸福祉プラザ 1F TEL 042-376-5044

編集後記

＜啓光福祉会 事業所一覧＞

○啓光学園（法人本部）／知的障害者（児）入所施設 東京都多摩市和田 1717 TEL 042-375-7303

○なかまの樹／重症心身障害者通所施設 東京都多摩市和田 1730-3 TEL 042-356-4006

○啓光えがお／知的障害者通所施設 東京都多摩市南野 3-15-1 二幸産業・N S P 健幸福祉プラザ 1.2F TEL 042-376-5044

○啓光ホーム／知的障害者グループホーム 東京都多摩市一ノ宮 4-27-12 TEL 042-339-7513

○啓光ホームおおぐり 東京都多摩市一ノ宮 4-39-15 TEL 042-319-3380

○啓光ホームいづみ 東京都多摩市和田 1721-7 TEL 042-401-9331

○啓光相談支援センター／特定相談支援事業所 東京都多摩市南野 3-15-1 二幸産業・N S P 健幸福祉プラザ 1F TEL 042-376-5044

30年続いた「平成」が終わりを告げ、新たに「令和」が始まりました。「平成」も障害福祉にとつては変革の時代でしたが、「令和」の時代もまた、急速に進む「障害者」の高齢化「重度化」の問題と同時に「家族の高齢化」「親亡き後の支援」など課題は山積みです。「地域生活支援拠点への参画」などと併せて、今の方人の役割の確認と、有する「体力」の中どれほどことができられるのかを、新しい時代の始まりの今、しっかりと見極めていければと思います。（広報編集委員会）